



# もはらまさひで 第18号A版 2006年7月15日発行 茂原正秀の市議会だより 7月号

〒370-2452  
富岡市一ノ宮1627-3  
TEL 090-9847-3512  
mohara55@aol.com  
http://moharamasahide.com



新市発足後、最初の定例会が  
6月に行われたけど、  
どのようなことが議論されたの？

岩井新市長の所信表明と、それに対する様々  
な一般質問が行われるなど、今後の富岡市に  
とって重要な内容が議論されたんだ。



## 新富岡市議会について

新富岡市が発足してから最初の定例会が6月に行なわれました。今回の定例会は岩井新市長就任後の初の議会ということもあり、市長の所信表明やそれに対する一般質問などで、活発な議論がなされました。また合併後、市議の数は32名となりました。これは合併に伴う在任特例を適用したもので、来年4月に予定されている市議選後は条例で定めた定数の24名となります。

市議会の委員会は、旧富岡市の構成を引き継ぎ、総務・社会・経済・建設の4委員会となりました。ちなみに私は今回も建設常任委員会の所属です。なお、この委員会は市道の管理などを行う建設部と、日常生活において最も重要な水道、市ガス、公共下水道などを管理するガス水道局を所管します。



## 新富岡市の抱える課題について

今回の合併により、新富岡市は合併特例債や地方交付税などの財政上の大きなメリットを手に入れることができました。しかしながら、課題も山積しています。「富岡製糸場」、「中心市街地のまちづくり」、「公設公営で建設・運営される特別養護老人ホーム」、さらには「産廃処分場」など、富岡市の将来に大きな影響を与えるようなものばかりです。また、一度は不調に終わりましたが、近隣町村との合併についても、近い将来新たな決断を求められるでしょう。

今こそ10年後、20年後の富岡市のために、さらには私たちの子や孫の世代のために「いま何が必要なのか、何をすべきなのか？」を真剣に考えるべきではないでしょうか。私はこのような思いを胸に、これからも全力で議員活動に取り組んで参ります。

### 建設常任委員会視察(7月4日～6日)ミニレポート

#### 北海道釧路町で、公営住宅『コレクティブハウジング』を視察！

釧路町では、公営住宅『コレクティブハウジング』を推進しています。これは住空間や生活援助員の配置・緊急情報システムの設置による「安全で安心して住み続けることのできる環境の提供」と団地内交流空間・団らん室の整備による「いろいろな世代の交流やふれあいのある住環境の提供」を目指し、1階を高齢者用住宅と集会所、地域交流センター、2階・3階を様々な世帯用の住宅とする集合公営住宅です。介護の新しい仕組みをつくり、社会全体で高齢者の暮らしを支える取り組みとして、今後の少子高齢化社会に対し大きな可能性を秘めた方法であると思いました。

高齢化率が15.6%と極めて低い町なのに、先進的な高齢化対策を進めていることに驚きました。

「福祉施設の充実」から、「高齢者が元気で楽しく日常生活を送れるような社会の仕組みづくり」に方向を変えていくことが今後は重要なのではないのでしょうか。



### ミニ情報コーナー

富岡市で行われた入札の結果が、市のホームページで詳しくご覧になれます

新富岡市となった平成18年度から、入札に参加した全業者の入札金額が公開されるようになりました。落札金額だけでなく、入札価格がすべて明らかにされることで、入札の透明性は大きく向上するのではないのでしょうか。市役所ホームページの財政課コーナーをご覧ください。

富岡製糸場内の建造物11件が国の重要文化財に

富岡製糸場の敷地一帯は昨年7月に国史跡に指定されましたが、本年7月には製糸場内の建物11件が国重要文化財の指定を受けました。次の目標は『世界遺産の国内暫定リスト登載』となります。

光ファイバー通信回線の世帯カバー率は一気に50%を超え、光ブロードバンドの先進地に！

昨年、一ノ宮地区で協議会を設立し、促進活動を展開したことが大きなきっかけとなり、わずか一年で富岡市は全国でもトップレベルのブロードバンド環境になりました。

## 茂原正秀(もはら まさひで)プロフィール

昭和33年生まれ47歳 富岡市議会議員1期目 建設常任委員会副委員長 商業振興対策委員 社会教育委員

